

2024年5月25-26日 八方睨み沢

メンバー L結城(会員外)、石川(会員外)、村中、岩田(記録)

八方睨みを計画してるけど行く？と聞かれて、気軽に「行く行く」と答えてしまった。それがこんなにつらいことになるとは・・・

八方睨みは戸隠の有名な蟻の戸渡りの先にあるピークだが、今回の山行は、そこから先の八方睨み沢の裾花川までの下りが核心。八方睨み山頂で沢装備に換装し、西岳側に少し下ったところから背の高い笹のブッシュを強引に100mばかり下る。沢靴でのブッシュの急な下りはとても滑る。笹を手掛かりに何とか下る。

下った先は細く急な雪渓。これもまた沢靴ではとても滑る。枯れ枝をピッケル代わりに雪渓の脇の笹や木を手掛かりに一步一步ゆっくりと雪の上を下る。途中、雪渓が溶けて高巻きが必要なところや、思わず崩れ落ちる部分があったり、残雪の雪渓の怖さを知る。

雪渓が終わりに近づくと、周りは山菜畑。コゴミ、ギョウジャニンニク、ニリンソウ、アカコゴミ。その他覚えきれないほど。沢の下りはあまり困難はなかったが、途中大きな岩が二つぶつかりあって、その下を沢が流れる。なかなかの見どころ。ヤンキーのガン付け岩と名付ける。

裾花川への合流点は崖の上から滝となっており、懸垂下降もできない高さ。崖の上を裾花川の下流方向へ藪漕ぎし、何とか下降点を見つける。

下降点から裾花川本流を少し下流へ進み、好適な幕営地を見つける。タープを河原から一段上に設営し、河原で焚火。まず誰も来ない場所で、沢登りの至福の時間を過ごす。泊りの沢ではいつものことだが、今回はいつもより気分よく日本酒を飲みすぎた・・・

次の日、頭がさええない中、体内のアルコール分を感じつつ、急な斜面を登り返す。疲れた～。こんなに疲れる山行は久しぶりだ。手も使った登りのおかげで、その後数日全身が筋肉痛だった。

【コースタイム】

1日目

森林植物園駐車場 7:30

戸隠神社奥社 8:15

八方睨み 10:30

裾花川幕営地 16:30

2日目

幕営地 7:10

八方睨み 12:15

戸隠神社奥社 13:50

森林植物園駐車場 14:35

